

# 「再発防止に協力を」 各都道府県協会へ要請

食品廃棄物問題受け事務局責任者会議で

全産廃連

全国産業廃棄物連合会は先月29日、都内で各都道府県産廃協会の事務局責任者会議を開催した。石井邦夫会長は愛知県における産廃廃棄物処理業者ダイコーの廃食品転売に端を発する問題を受



け、連合会の対策実施への工程を説明。2月4日の総務倫理委員会を経て適正処理確保について周知を図り、再発防止策を取りまとめる方針を打ち出し、協力を要請した。

冒頭、あいさつの中で石井氏は、愛知県協会の会員でもあるダイコーが起こした事案について、「産業廃棄物業界に対する信頼を失墜させる深刻な問題だ」との認識を示した上で、適正処理、業界の優良化、地球温暖化対策の3本の事業を掲げ、時代的要請に心えつつ、循環型社会を担う産業へ変貌してきた業界にとっ

て「到底許されるものではない」と述べた。各都道府県協会には先日発出した通知に従って行政への協力と、連合会の倫理要綱の趣旨に立ち返り、会員事業者の資質向上等に取り組むよう求めた。

関係者によると、連合会では、食品廃棄物の適正処理に関する研修会を全国で開催するなど、再発防止策の早急な検討を進めているという。